



コロナ禍での癒しや脳の活性化のため 「切り絵」にチャレンジ

レディースクラブ可部町支部
三入グループ

「今日は楽しかった!また行きたい!と思ってもらえる交流活動を」

コロナ禍での自粛の影響で活動開始が6月29日となったレディースクラブ可部町支部三入グループ「家の光記事活用グループみいり」。ステイホームが続いている会員らを考え、今年度初めての活動は「心の癒し」や「脳の活性化」に繋がればと、家の光2020年9月号付録の「心が整う小さな切り絵」を教材に使用しました。三入支店で開催した教室に19名が参加し、地域ふれあい課松本弓恵職員や事前に作成経験のある会員を講師に、会員たちはバラやミズバショウの図案を細かい部分に苦戦しながらカッターで丁寧に切り取り、最後は額縁に入れて仕上げました。三入グループ代表の下谷洋子さんは「活動がスタートできてよかった。今日は楽しかった、また行きたいと思ってもらえる交流活動を



▲「家の光記事活用グループみいり」のみなさん

続けられるよう努力していきたい」とこれからの活動への意欲を話します。



▲切り絵に挑戦するのは初めてという会員も。そんなときはいつも自然と経験のある会員が講師になって助け合い、みんなで作り上げるそうです

今回の取り組みは…

SDGs
JA広島市レディースクラブは、持続可能な社会の実現に向けてSDGsに取り組んでいます。



第40回

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

JA広島市の自己改革

武内誠委員長が再任 JA YOUTH広島市 第28回通常総会

JA YOUTH広島市は、7月20日に第28回通常総会を開催。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で書面議決による総会となりましたが、今年度は感染防止対策を徹底したうえで、通常開催されました。

武内誠委員長の議事進行により、令和2年度活動報告並びに収支決算書について、令和3年度活動計画(案)並びに収支予算(案)について、役員改選についての3議案が賛成多数により承認されました。

令和3年度は、組織の拡充・強化に向けた盟友の加入促進と活動の強化、JA運動への積極的な参加のための学習・実践活動、JAとの連携強化、地域振興・農業振興の取り組みへの積極的な参画、支部間・地域間交流などに取り組むことが決議されました。役員改選では、武内誠委員長が再任、副委員長には塗本浩則さんが引き続き、鍛冶山政隆さんが新たに選任され、全21名の新役員体制が承認されました。武内委員長は「昨年度は新型コロナウイルスの影響で顔を合わせる機会がなかった。改めて盟友との絆を確認した総会だった。盟友には、盟友同士団結して、地域農業を盛り上げ、地域の活性化を先導できる生産者になってほしい」と抱負を述べました。

総会後に行われたJA広島市役職員との意見交換会では、販売力強化や出荷資材の意匠見直し、遊休農地の解消とともに、店舗再編の進捗状況などについて意見が交わされました。



役員改選など3議案を決議